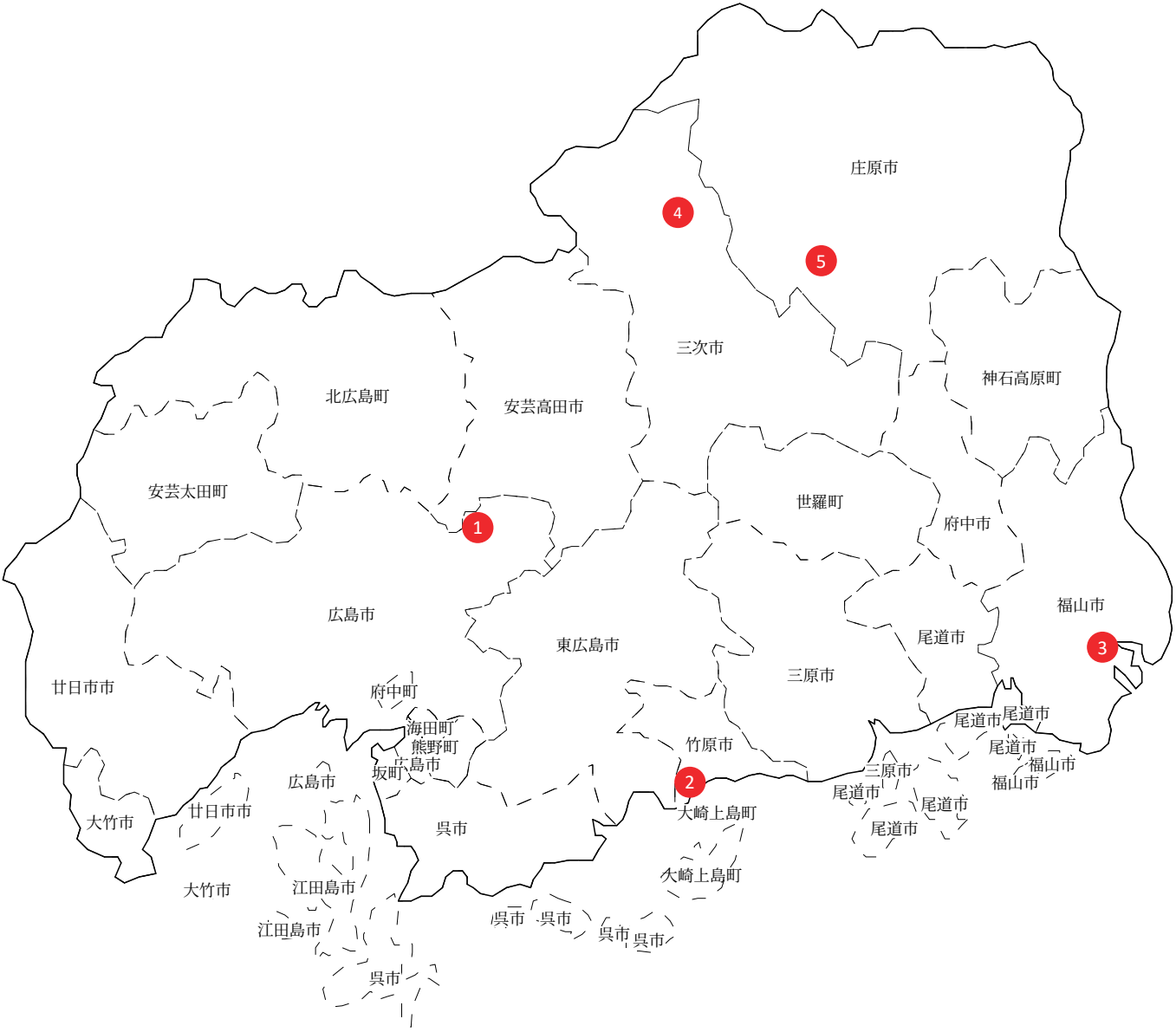


広島県

## 「ディスカバー農山漁村 むらの宝」第12回選定）応募団体 一覧（広島県）

| No | 選定<br>団体                                                                          | 部門 | 市町村 | 団体名                      | 該当する取組   |          |         |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------|----|-----|--------------------------|----------|----------|---------|
| ①  | 地方<br>奨励賞                                                                         | 団体 | 広島市 | 株式会社中矢建設 白木ジビエセンター ももんしゃ | 鳥獣被害防止   | 地域の活性化   |         |
| ②  |                                                                                   | 団体 | 竹原市 | 吉名じゃがいもプロジェクト            | 農業       | 企業との連携   | 食育・教育   |
| ③  | 地方<br>奨励賞                                                                         | 団体 | 福山市 | GooHats                  | 学生・若者の活躍 |          |         |
| ④  |                                                                                   | 団体 | 三次市 | 石原ひまわりまつり実行委員会           | 6次産業化    | 教育機関との連携 | 関係人口の創出 |
| ⑤  |  | 団体 | 庄原市 | 広島県立庄原実業高等学校             | 農業       | 輸出       | 企業との連携  |

応募団体所在市町区（広島県）



地方  
奨励賞

かぶしきが いしゃ なかや けんせつ  
しらき  
株式会社 中矢建設  
白木ジビエセンター ももんしや  
「いのちのわ」

## 概要

- 広島市から有害鳥獣駆除補助業務を請け負い、捕獲した鳥獣を焼却処分していたが、「命を粗末にしない、地産地消活動を行ない地域の雇用や活性化にも繋げたい」と思い、白木ジビエセンターももんしやをオープン。
- 有害鳥獣の駆除、有害鳥獣の駆除個体数管理、有害鳥獣のジビエ利用、地元野菜などの販売、地元お好み4焼き店とコラボ、地元パン屋とコラボし地域を元気にし、地域の方を雇用し、地域活性化を図っている。



中矢代表と地元ももんしや従業員

## 成果

- 広島市有害鳥獣駆除の補助業務を請け負い、各駆除班との連携をスムーズにし、被害農家の負担軽減や捕獲数増加のため、罠用餌の補充や稼働状況を確認することで捕獲数が増加した。
- 「ももんしや」は、シカ肉を使った総菜やシカ・イノシシの精肉を販売する専門店。購入した総菜は、店内のイートインスペースで食べることも可能。ペットフードも生産・販売。
- ジビエ肉料理の研究をし、より多くのジビエ利用を目指し、売上も伸びつつあり、地域の方の雇用を増やした。



ももんしやメニューとイノシシお好み焼き

〒739-1303 広島市安佐北区白木町志路2663-2  
082-828-0460 h7kazu23@gmail.com

関連情報はこちら ▶



よしな  
吉名じゃがいもプロジェクト  
吉名じゃがいもの認知度アップを目指しています

## 概要

- SNS等を利用し、じゃがいも植え付けから収穫までを体験する参加者を募集。
- 収穫したじゃがいもは、市内及び近隣市町の活動応援協賛店で料理に提供したり、規格外じゃがいもを使った加工品（かりんとうやドーナツ）を地域の飲食店と共同開発。



地元企業と共同開発した商品

## 成果

- 地道にPRを続けることで、新たに多くの人に参加してもらうようになった。その中から農業に興味がある方へは、近隣じゃがいも農家を紹介し新規就農になる取り組みも行うようになった。
- 竹原市ケーブルテレビで活動の体験などを放送。行政やJA、地元企業の協力も得られるようになった。吉名学園の生徒と一緒に育てたじゃがいもが、生徒たちが考案した「レモじゃが炒め」のレシピとともに、ふるさと納税返礼品に採用された。



ちびっこ芋ほりの模様



収穫したじゃがいも

〒725-0013 竹原市吉名町2827-1  
zhisuiyoutian@gmail.com

関連情報はこちら ▶



地方  
奨励賞

ぐーはっつ  
GooHats  
1人1推し農家

概要

- 福山市立大学公式「農業盛り上げサークル」。学生目線での農業体験、取材を通じて、農家の魅力を発信。
- 福山市の「（一社）わかいふぁーむ」と連携。とうもろこしの販売収益の一部をインドネシアの高校生への奨学金として寄付する「とうもろこし奨学金プロジェクト」を実施。
- 福山市のいちご農家取材。そのイチゴを使ったスムージーを開発し、福山ばら祭りで販売。



とうもろこし奨学金プロジェクトの様子

成果

- とうもろこしの販売を通じて、消費者が生産者につながる機会を創出。また、福山の農業と国際協力を結びつける活動により、地域活性化と国際支援の架け橋となる。
- スムージーと一緒にレシピチラシを配布することで、家庭でも気軽に作れるようになり、地産地消の推進に貢献。また、販売や情報発信を通じて多様な関係者と連携し、地域資源の活用と農業活性化に寄与。



イチゴスムージーの販売

〒721-0964 福山市港町二丁目19番1号

関連情報・連絡先はこちら ▶



いしはら じっこういいんかい  
石原ひまわりまつり実行委員会  
皆で“ワッショイ”ひまわりを結の宝に32年

概要

- 農地と我が家の庭先に咲いた、ひまわり観賞巡り・人と語りづくり等、住民の主体性を発揮した集落にぎわいづくり。
- 集落内にIターン者が14人おり、斬新さと創造的な言動及び行動によりまつりを継続。
- 乳幼児から小学生までの児童がひまわりの種まき、まつりのバザースタッフを担い、熟年者が、篠竹鉄砲づくり・石焼味噌汁づくり・切り絵など趣向を凝らした昭和の遊び体験指導を行なう。



一面のひまわり畑



来訪者と笑顔の交流

成果

- 来訪者が令和7年度には1000人を超える見込み。
- 君田中学校生徒が地域課題学のために、ひまわりまつり会場でアンケート調査を行ない、もち麦・霧里（きりり）ポーク・アスパラのキャラクターを創作し、梱包袋に貼りつけ出荷しブランドイメージを向上。
- 実行委員会32年の歴史と実績があるが、責任を明確にした持続性の高い組織とすることを課題として、法人化（一般社団等）によるまつり展開ができるよう検討中。



・もち麦 ・霧里（きりり）ポーク ・アスパラ

創作した特産品のキャラクター

〒728-0404 三次市君田町石原151  
090-9061-5165 kogawa.mtr@p1.pionet.ne.jp

関連情報ははこちら ▶







ひろしまけんりつしょうばらじつぎょうこうとうがっこう

# 広島県立庄原実業高等学校

輸出リスクを減らせ！「GAP認証ナシ酢」の製造

## 概要

- GAP認証を得た梨を香港へ輸出しているなか、選果の際、輸出規格に満たない梨が多い事が課題となっており、解決に向けた研究を実施。
- 梨の果皮に果肉の約12倍の値であるポリフェノールが含まれている事が判明し、果皮の機能性成分を生かした加工品の開発を目指して、食酢製造を130年以上続ける地元の製造会社と連携し果実酢の製造を行い、飲むお酢「庄実梨Vinegar」を完成させた。



香港輸出に向けた出荷・調整



完成を祝しての記念撮影



「庄実梨Vinegar」

## 成果

- 製造した果実酢のオンライン販売を開始。さらに、果実酢1本あたりの利益を算出し、日本梨の国内向けと輸出向け販売と併用とした場合の利益等を試算するなど、輸出・国内販売に向かない梨の有効活用について研究を実施。本取組の成果として、傷があるものや糖度が基準に満たず、輸出できなかった梨を酢に加工して販売するという新しい取組を提案することができた。

〒727-0013 庄原市西本町一丁目24番34号  
0824-72-2151 shobara-h@hiroshima-c.ed.jp

関連情報はこちら ▶

